

平成24年度に実施した主な取り組みと計画目標の進捗状況について

1 平成24年度に実施した主な取り組み

基本方針1 市民・事業者・市の協働によるごみを出さない社会づくりを推進します。

計画事業名	主な取り組み
1 ごみ減量のための「ちばルール」の普及・拡大	(新)「ちばルール」の施策の見直し (新)「ちばルール」の拡充のための千葉市商店街連合会とのごみ減量のための「ちばルール」加入促進等に関する協定の締結 (拡)市民への既存協定店の取組PR ○ごみの減量や再資源化に貢献したちばルール協定店に対する優良店表彰の実施 (ちばルール協定店 1店舗を表彰) (新)マイバック持参向上キャンペーンの実施(30事業者36店舗)
2 国及び他自治体との連携	○九都県市廃棄物問題検討委員会 減量化・再資源化部会での3R普及促進事業の実施 (若年層のマイボトル使用促進のために大学団体等による学生向けの啓発や、家電量販店との連携による使用済小型家電リサイクルキャンペーン回収等の取組を行った) ○災害時における相互支援・広域連携の体制構築
3 3R教育・学習の推進及びごみ処理に関する情報の共有化	(新)部門別のごみ処理経費に関する詳細な情報の発信 (新)大学生との連携による未就学児への3R啓発(市内6保育所) (新)レジ袋使用削減のためのマイバッグデザインコンテストの開催 (応募小学校数 45校 応募作品数 3,727点) (拡)小学生によるごみ出しチェック「ヘラソーズ」の実施 (募集型 H23:17地区→H24:18地区、授業型 H23:5地区→H24:6地区) ○若年層を対象としたごみ減量等PRの実施 ○ごみ分別スクールの実施(市立小学校等117校 受講者数8,912人) ○チャレンジ1000(町内自治会等を対象とした説明会)、出前講座の開催
4 生ごみ、剪定枝の排出抑制の推進	(拡)生ごみ減量処理機及び肥料化容器購入費用の助成 ・生ごみ減量処理機助成基数 H23:122基 → H24:128基 ・生ごみ肥料化容器助成台数 H23:346台 → H24:363台 (拡)公民館等での生ごみ減量・資源化講習会の実施(22回339人) ○生ごみ資源化アドバイザーの養成・派遣の充実 (派遣回数 H23:6回 → H24:7回) ○剪定枝チップ機の貸出(貸出回数 H23:185回 → H24:164回)
5 発生抑制(リデュース)・再使用(リユース)の促進	○リサイクル情報コーナーにおける不用品交換情報の提供等
6 料金の見直しによるごみの排出抑制	(新)家庭ごみ手数料徴収制度に関する意見交換会の実施 (自治会等92回、管理組合40回の計132回実施。延べ3,036名が参加) (新)家庭ごみ手数料徴収制度の導入に向けた「千葉市廃棄物の適正処理及び再利用等に関する条例」等の改正
7 ごみ出し支援サービスの実施	(新)高齢者・障害者へのごみ出し支援事業の検討
8 環境美化の推進・不法投棄の防止	(拡)不法投棄防止PR及び監視パトロールの実施 (拡)不法投棄防止監視カメラの増設(4台) ○美しい街づくり活動団体の支援(支援団体数173団体) ○「路上喫煙等ポイ捨て防止」に関する街頭キャンペーンの実施 ○ごみステーション美化活動等に関する表彰の実施(6団体 10個人)
9 C-EMSによる市庁舎等における率先した3Rの推進	(拡)C-EMS(チームス)の適用範囲を病院局、消防局、水道局及び小中学校・公民館・図書館等に拡大することを検討 ○C-EMS適用施設による省エネ行動の実施と温室効果ガスの排出削減の実現 ○適用施設における廃棄物排出削減等の継続実施

(新)は新規、(拡)は拡充して実施する取り組み

基本方針 2 分別の徹底・推進・拡充による高度な資源化への挑戦により、焼却ごみの継続的な削減を目指します。

計画事業名	主な取り組み
1 0 市民・事業者との協働による再資源化の推進・支援	(新)許可業者との連携による事業所への情報提供（啓発チラシの配布） (拡)飲食店等の事業所に対する適正処理の周知・啓発（リーフレット配布） ○廃棄物適正化推進員の地域活動へ積極的に関与する仕組みづくりを検討する。
1 1 地域コミュニティ・事業者間ネットワークを活用したごみ減量の推進	○業界団体や商工会等の組織団体に対する情報提供 ○NPOなどの関係団体との連携・活動支援 ○ごみの適正排出に向けた、廃棄物適正化推進員を中心とした自治会等による取り組み推進
1 2 ごみ排出ルールの遵守・指導徹底	○ごみ分別排出指導及び持ち去り対策の強化 ○ごみステーション美化活動等に関する表彰の実施（再掲）
1 3 多様な排出機会 の提供と動機づけによる古紙等の再資源化の推進	(拡)資源回収団体への表彰制度の改正、活動の顕著な団体の表彰（9 団体） ○資源回収活動のためのキャンペーンの実施 ○資源回収奨励補助金の交付及び保管庫等用具の貸与 ○集団回収の実施（H23：17,639t →H24：16,912 t） ○古紙回収庫（市内 20 か所）での古紙回収の実施 （古紙回収庫回収量 H23:168 t →H24:171 t）
1 4 プラスチック製容器 包装の再資源化の推進	○容器包装リサイクル法改正の動向を把握する。
1 5 剪定枝等の再資源化の推進	(新)剪定枝等の小さな循環システム及び大きな循環システムの検討
1 6 生ごみの再資源化の推進	(新)生ごみ分別収集特別地区事業の実施 ・対象世帯数 2,760 世帯 ・収集量 H23:241t →H24:234 t （若葉区加曽利町及び大宮町の一部、緑区大椎町の一部、美浜区幸町の一部で実施） ○事業系食品残渣の再資源化の推進 ・収集運搬許可業者及び処分業者による収集量 H23:5,276 t →H24:6,794 t
1 7 さらなる資源化品 目の検討・推進施策	○国の動向を注視し、小型家電などの新たな資源化品目の検討 （使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律交付を受け検討を行った）
1 8 事業所ごみの排出管理・指導の徹底	○ごみの分別・排出ルールを遵守していない事業者に対しての指導の強化 指導件数 H23: 153 件 → H24: 126 件 ○事業用大規模建築物への指導の実施 立入調査実施件数 H23: 253 件 → H24: 158 件 ○搬入物検査と連動した排出事業所への指導の実施 ・検査台数 H23: 11,485 件 → H24: 17,920 件 ・持込不適物搬入台数 H23: 125 件 → H24: 120 件 ・排出事業者への指導件数 H23: 38 件 → H24: 27 件
1 9 清掃工場における事業系ごみの搬入物検査の実施	○常時検査及び一斉検査の実施

基本方針 3 低炭素・資源循環へ貢献する、経済・効率性と安定・継続性に優れたシステムの構築を目指します。

計画事業名	主な取り組み
2 0 収集運搬体制の合理化	(新) 粗大ごみ収集業務の委託化の実施（中央区・美浜区）
2 1 民間の活用を取り入れた再資源化システムの構築	(拡) 民間施設を活用した生ごみの処理 生ごみ分別収集特別地区事業により収集した生ごみを、ガス化溶融施設及びメタン発酵ガス化施設でバイオガス化 処分量 H23: 241 t →H24:234t
2 2 焼却残渣の再生利用の推進	○ストックヤードを活用した溶融スラグの利用 溶融スラグ化量 H23:3,975 t → H24:5,341 t 売却量 H23:2,748 t → H24:3,514 t 焼却灰最終処分量 H23:25,217 t → H24:26,734 t
2 3 焼却処理施設の長期的な運用計画の推進	○焼却施設の維持管理における民間活用の継続・長期的な運用計画の検討 新港清掃工場における長期責任型運営維持管理の実施 北清掃工場における長期責任型運営維持管理の実施
2 4 最終処分場の適正管理	(新) 最終処分場における長期責任型運営維持管理の実施に向けた民間事業者の選定 ○最終処分場の適正な維持管理の実施 総埋立量 H23:25,354 m ³ → H24:29,888 m ³ 残余量 H23:473,062 m ³ → H24:443,174 m ³
2 5 安定的な処理体制を目指したごみ処理施設の配置・整備計画の推進	(新) 北清掃工場代替施設の整備内容の検討 (新) 最終処分場の再生・延命化に向けた検討
2 6 新たな資源化システムの検討	○安定的な処理を実現するための総合的なごみ処理システムの検討 ○ エネルギー利用の強化に向けたごみ処理システムの検討
2 7 適正処理困難物等の処理推進	(新) スプリング入りマットレス等の処理品目の拡大及びそれに伴う収集体制の見直しの検討 ○適正処理困難物の処理促進についての検討

2 千葉市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画における目標の進捗状況

		H16 年度 (基準年)	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H33 年度 (目標年)
総排出量 (トン)	実績	422,303	413,214	397,607	385,812	381,979	383,816	385,652	
	計画			427,779	428,528	429,157	429,772	385,434	364,000
焼却処理量 (トン)	実績	337,989	306,805	292,382	277,293	267,229	265,191	264,640	
	計画		328,534	314,109	309,706	292,848	285,598	268,114	220,000
再生利用率 (%)	実績	22.3	28.1	29.1	31.0	32.9	32.1	31.5	
	計画		25.7	29.4	30.8	35.1	37.0	33.3	43.0
最終処分量 (トン)	実績	35,207	30,764	27,503	23,894	22,335	29,576	30,856	
	計画							22,198	17,000
温室効果ガス排出量 (トン)	実績	112,000	113,724	114,371	110,865	118,098	99,619	98,610	
	計画		107,682	102,960	101,510	74,100	72,650	118,489	83,000

※ 再生利用率：ごみの総排出量に対する再生利用量（古紙やびん・缶・ペットボトルなど資源物の回収量と焼却灰の資源化量の合計）の割合